

ナンバリング	B②12	科目名	保育者論Ⅱ
担当形態	単独	担当教員	小木曾 友則
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館. 「保育所保育指針解説」フレーベル館. 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館. その他適宜資料を配布する。		
開講時期	後期	単位数・ 授業形態	1単位・講義
到達目標	1.保育者の専門性について考察し、理解したことを説明できる。 2.保育者の連携・協働について理解し、説明することができる。 3.保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明することができる。		
授業の概要	本講義は、現代社会における教職の重要性の高まりを背景に、教職の意義、教員の役割・資質能力・職務内容等について身に付け、教職への意欲を高め、さらに適性を判断し、進路選択に資する教職の在り方を理解する。 講義では、保育者論Ⅰで理解した内容を基盤にしながら、担当教員が保育士・幼稚園教諭として勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を基に、「自己の保育者像の明確化」、「チーム保育」、「学び続ける保育者の在り方」について学ぶ。		
授業計画	第1回 保育者の専門性① 「計画に基づく保育の実践と省察・評価」 第2回 保育者の専門性② 「保育の質の向上」 第3回 保育者の連携・協働① 「保育における職員間の連携・協働」 第4回 保育者の連携・協働② 「専門職間及び専門機関との連携・協働」 第5回 保育者の連携・協働③ 「地域における自治体や関係機関等との連携・協働」 第6回 保育者の資質向上とキャリア形成① 「資質向上に関する組織的取組」 第7回 保育者の資質向上とキャリア形成② 「保育者の専門性の向上とキャリア形成の意義」		

	第 8 回 保育者の資質向上とキャリア形成③ 「組織とリーダーシップ」				
準備学習	予習として、毎回授業計画に示された「 」のテーマに関して、テキストで確認を行う。 (60 分) 復習として、毎回講義のテーマに関して講義資料をもとに振り返る。(30 分)				
評価方法	<p>受講態度(20%)授業課題(30%)期末レポート(50%)</p> <p>受講態度は、授業中に提示した課題に責任を持って取り組む、質問に対する応答やグループ討議での積極性、発表時のまとめ方等から「関心・意欲・態度」及び「技能・表現」の到達度を見る。</p> <p>授業課題は、毎授業時間終了時に講義のゴールについて記述する振り返りシートから授業内容に関する「知識・理解」及び「思考・判断」から到達度を見る。</p> <p>期末レポートは、各授業に設定されたゴールから出題し、「知識・理解」及び「思考・判断」の観点から到達度を見る。</p>				
参考文献	授業中に適宜示す。				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、保育者論 I の単位が修得できていない場合、受講することができない。 ・パソコンまたはタブレットを毎回持参すること。 ・Google Classroom から講義資料の配信、授業課題の提示を行う。 ・配信されたレジュメの PDF データにメモするか、あらかじめ自身で印刷するなどして受講することをすすめる。 ・授業計画に示した「 」は各回の講義のゴールである。授業中はゴールを念頭に受講し、授業後の振り返りシートで理解した内容をまとめて教員に提出する。 ・期末レポートは、各講義のゴールから出題される。毎回の講義を重んじた授業設計であることを踏まえて受講してほしい。 ・他の受講者に対する迷惑行為(私語、飲食、講義と無関係なスマートフォンの使用、複数回に渡る退室や明確に受講意思のない居眠りなど)と判断される行為はその回の受講態度の減点となる。講義の進行を妨げる場合は受講態度を大きく減点する。 ・本講義では、生成 AI の利用については「使用可能範囲」と「使用禁止範囲」を設けている。これは遵守してほしい。 				
課題へのフィードバック方法	毎回の講義で提出する振り返りシートには教員がコメントを行い、次回の授業冒頭で他の学生のコメントを紹介する。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育の基礎的理解に関する科目
	その他		保育士資格	必修	保育の本質・目的に関する科目

教員の実務経験

(小木曾)保育所及び幼保連携認定こども園で勤務した経験を踏まえ、具体的な事例を利用しながら実践的な講義を展開する。